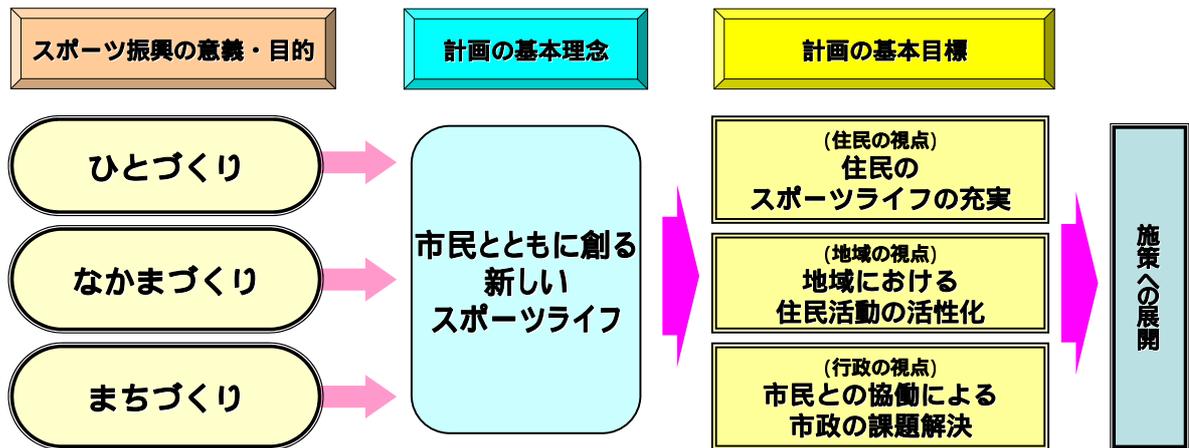


## 第4章 計画の基本的な考え方

本市におけるスポーツ振興の意義・目的を改めて確認し、計画の基本理念を設定します。また、それに基づいた、基本目標を掲げ、本計画の施策を展開していきます。以下は、計画全体の基本的な考え方です。

図表：4 - 1 計画の基本的な考え方



### 4 - 1 . スポーツ振興の意義・目的

これからのスポーツ振興は、市民の競技力の向上や健康づくりやストレス解消・気晴らしに役に立つだけに留まらず、生きがいや自己実現、さらに仲間づくり、まちづくりに大きな貢献を果たすことが求められています。本計画では、「ひとづくり」「なかまづくり」「まちづくり」3つの観点から本市におけるスポーツ振興の意義・目的を整理します。

#### 「ひとづくり」

##### ～健全な心身、生きがいづくり～

情報通信技術や交通機関の急速な発達に伴い、運動不足による青少年の体力低下や成人の生活習慣病の増加などが社会問題としても注目される中、スポーツ振興は、市民の競技力の向上以外にも、年齢に関わらず、健康や体力維持向上に重要なものとなってきました。また、心身のリフレッシュや青少年の健全育成、個人の生きがいの創出の手段としても大きな期待が寄せられます。

#### 「なかまづくり」

##### ～感動の共有、助け合い・認め合いによる安心感～

機械化・情報化がますます進む中、対面でのコミュニケーションが不足がちになり、他者との意思疎通に、さまざまな課題を抱えている人が多くなりつつあります。そのような課題に対し、スポーツは、感動を共有したり、お互いを助け合ったり、認め合ったり、刺激し合うことで、家族や友人、仲間との絆を深めていくきっかけとして期待されます。

#### 「まちづくり」

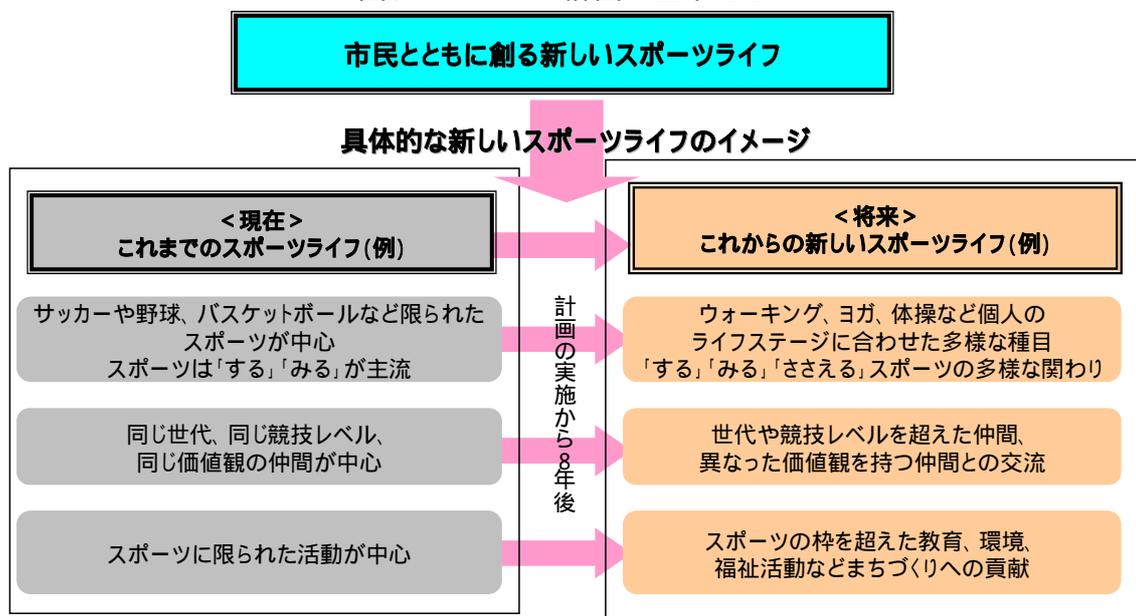
##### ～地域コミュニティの再生、地域の底力の向上～

地縁が薄れ、人と人とのつながりが希薄化する地域において、「する」「みる」「ささえる」といった多様な関わり方ができるスポーツは、コミュニティの再生のきっかけとして、「地域」の底力を向上させる有効な手段の一つとなります。

## 4 - 2 . 計画の基本理念

本市におけるスポーツ振興の意義・目的を踏まえ、計画を推進していく際の柱となる考え方として、基本理念「市民とともに創る新しいスポーツライフ」に基づいた計画を策定します。

図表 4 - 2 計画の基本理念



これまで、市民にとって「スポーツ」といえば、プロスポーツとしても盛んな、サッカーや野球、バスケットボールといった競技性の高い種目が比較的中心であり、且つ、そうした種目は、主に、自ら身体を動かす「するスポーツ」や観戦する「みるスポーツ」として、私たちの生活に浸透してきました。しかし、これからの時代は、ウォーキングやヨガ、体操、ダンスなどの特に勝ち負けを競わない運動や、誰もが気軽に参加できることを主目的としたニュースポーツ<sup>9</sup>など、個人のライフステージや価値観に合った多様な種目を、誰もが、いつでも、いつまでも、楽しめる環境が求められてきます。また、「するスポーツ」「みるスポーツ」活動だけでなく、スポーツクラブ・団体の監督・コーチなどの指導者として、もしくは、スポーツ大会の審判やスタッフとして、プロチームのサポーターとして参画する「ささえるスポーツ」活動も、今後、スポーツライフの重要な要素となってきます。

さらに、これまでのスポーツライフは、同じような世代、競技レベル、価値観を持つ仲間を中心にスポーツ活動を楽しむ傾向にありましたが、今後は、世代や競技レベル、競技種目、価値観を越えたスポーツ交流・イベントを通じて、多様な人々・団体との絆づくりが期待されます。同時に、これまで、比較的、地域のスポーツ活動を中心におこなっていた人々や団体が、スポーツの枠を超えて、教育、環境、福祉分野といったスポーツに留まらない活動へ地域づくりに貢献する活動に発展していくことが期待されます。

本計画では、こうした新しいスポーツライフを市民とともに創造していくこと、基本理念とします。

<sup>9</sup> 「ニュースポーツ」スポーツの原点とされる「楽しさ」の追求を第一とする「新しい理念をもったスポーツ」のことで、いつでも、どこでも誰でもできる「みんなのスポーツ」の総称。例：グラウンドゴルフ、アルティメットなど。

## 4 - 3 . 計画の基本目標

計画の基本理念に基づき、計画を効果的、効率的に実行、管理していくための基本目標を掲げます。住民、地域、行政といった3つの視点から基本目標を掲げ、適切な評価および見直しを実施することで、効果的な計画管理を進めていきます。

### (1) 住民の視点：住民のスポーツライフの充実

住民のスポーツ実施率、スポーツ活動頻度に関する満足度、スポーツクラブ・団体加入の割合、また、健康・体力への意識の向上など住民のスポーツライフの充実を、市民の視点の基本目標として掲げます。

### (2) 地域の視点：地域における住民活動の活性化

スポーツ活動を通じて、スポーツ以外の地域活動への積極的な参加や地元意識や愛着の向上、また、地域経済を活性するコミュニティビジネス<sup>10</sup>の創出など地域における住民活動の活性化を、地域の視点の基本目標として掲げます。

### (3) 行政の視点：市民との協働による市政の課題解決

スポーツ振興をまちづくりの一環として捉えて、市民との協働により、医療費・介護費の削減、青少年の健全育成、行政サービス分野への市民活動の参入など市政の課題解決を行政の視点における基本目標として掲げます。

---

<sup>10</sup> 「コミュニティビジネス」地域の人々が、地域に眠っている資源（労働力、原材料、技術力など）を活用して行う小規模ビジネスで、利益の追求に加え地域課題の解決を目指すビジネスをさす。